



オムソーリ

社会福祉法人宝生会広報誌

Vol.1

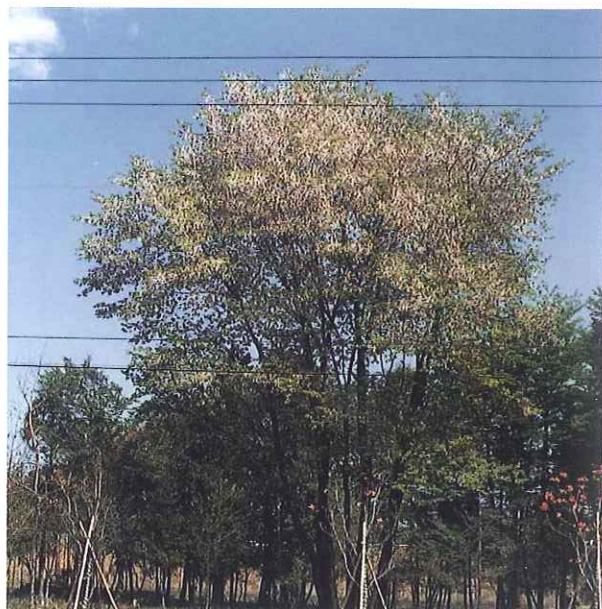
URL : <http://numaog.or.jp/>

2010年5月27日発行創刊号

特別養護老人ホーム敬祥苑

老人保健施設白楽園

グループホームカトレア



表紙に寄せて

社会福祉法人宝生会



理事長
沼尾 成美

今年も当法人の敷地内にある数本の山ざくらが、ゆづくりときれいに咲き誇りました。

葉芽と花が同時に開く野生の桜ですが、薄紅白色の小さくて可れんな花の風情に癒されながら、多くの方たちがお花見を楽しみました。

写真上の山ざくらは、老人保健施設白

楽園建設のため平成四年に、やむなく惜しんで伐採となつた貴重な一本の山ざくらです。

道を挟んだ前の特別養護老人ホーム敬祥苑の窓から眺めた十八年前の景色が懐かしく、私の目にも焼き付いています。新緑前の赤みを帯びた淡いピンク色の眺望は、慎ましやかで優しい水彩画の絵を見るように心が温まり、その美しさに思わず感嘆の声をあげていたことが今でも思い出されます。

そんな楚々とした山ざくらを大変好んでいた宝生会創立者故沼尾嘉時前理事長の、設立時の心に触れる熱い想いを感じます。

春夏秋冬大地にしつかりと根を張り、厳しい冬を耐えて咲く桜の木からも、みんな自然が育むいのちの尊さや、逞しさが伝わってきます。

宝生会の事業がスタートして二十四年目の春を迎えました。沢山の高齢者の方にご利用いただき感謝申上げます。



「オムソーリ」について

社会福祉法人の先進国スウェーデンに古くからある人間愛に基づく言葉のこと)を)気にかける、或いは悲しみを分かち合う、(お互いを)かばい合う、面倒を見るということを意味する。これはあらゆる看護、介護、養護という概念を包括するといふ。

創立者の運営理念はこの人間愛であることから、この言葉のイニシャルOを基本モチーフとし、0の内周は社会福祉法人・宝生会を表現するオーバルとした。

卵は生命の源を表し、黄味にあたる円のサイズはマーク前径の黄金比一対一・六一八となつて宝を意味づけた。

また、医療法人社団・洋精会の洋と沼尾病院の沼を中心の円で水面の輪が限りなく地球的に広がる様子としてイメージした。インクリーズする輪の比率黄金率となつてゐる。

シンボルカラーは、ベースの0はオレンジレッドで暖かい心と尽きない情熱を象徴し、内にある円は生命の起源である水と空気を表すターコイズブルーとした。

「オムソーリ」の理念の下、今後も福祉の発展、充実を使命として貢献できるよう、職員一丸となつて邁進してまいります。ご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。

**初代理事長
沼尾嘉時氏の思い出**



浅川 茂
理事

社会福祉法人宝生会

沼尾嘉時氏

方でした。沼尾さん（平成十八年十月三十日没、六十才）、手塚さんともに秀才薄命でしょうか。誠に残念です。

矢野哲朗さんは、県会議員になる前友人・ブレーンとして大変仲の良い大森俊一さんが評議員を務めていらっしゃいます。又、同級生に小塙照夫さ

ん（歯科医）がおります。小塙さんは、敬祥苑・白楽園の入所の方の歯科医も、してあります。そして現理事の菅山克

しゃいます。又、同級生に小塙照夫さん（歯科医）がおります。小塙さんは、敬祥苑・白楽園の入所の方の歯科医も、してあります。そして現理事の菅山克

夫さんも同級生です。

最後に私の母、浅川千代が白楽園さん、沼尾病院さんに九十歳の時からお世話になり、今年三月二十六日に、元

気に百三才の誕生日を迎えることができました。

沼尾成美理事長さん、古谷院長さん他多くの方々に感謝申し上げます。

ありがとうございます。

小さい頃、沼尾さんはトランペットを吹き、校内の演奏会では、びっくりしました。又絵は、私も好きで絵画コンクールで、二人で県庁で表彰を受けたことを、覚えております。

小学生の頃、沼尾さんの自宅の広い庭の芝生の上で相撲を取つたり、御腹がすくと食事をともにすることもありました。

沼尾さんは、誠実な人柄で、喧嘩をしたり、怒ったことなど見たことがあります。そして友人を非常に大事にする人でした。

宝生会最初の理事メンバーでした公

認会計士の手塚利彦さん（平成十三年二月一日没、五十四才）、私も手塚さんには、公私ともに大変お世話になつた



故沼尾嘉時先生 回診風景

**協力病院から
医療法人社団洋精会 沼尾病院**



古谷 耕資郎
院長

沼尾病院は、宝生会の各施設（敬祥苑、白楽園、カトレア）を利用されている方々の診療、救急医療を行なつております。

高齢者の病気は、一見よくなつたようにも見えても、数週間で再発したり、他の病気につかつたりして、安定しないことがよくあります。一般病院から退院して、施設で一定期間療養し、自宅で生活することができれば理想的ですが、その通りになる方は少なく、いろいろな場面で医療対応が必要になります。

沼尾病院は、宝生会の協力病院として、病気の時にだけ対応するのではなく、ふだんから沼尾病院の医師が、敬祥苑、白楽園、カトレアに定期的にお邪魔して、利用者の健康状態を把握しております。

高齢者の病気は、一見よくなつたようにも見えても、数週間で再発したり、他の病気につかつたりして、安定しないことがよくあります。一般病院から退院して、施設で一定期間療養し、自宅で生活することができれば理想的ですが、その通りになる方は少なく、いろいろな場面で医療対応が必要になります。



沼尾病院東側より

取が不足していれば点滴をし、所見によつては早めの検査を行つて病気の診断をしております。こうした小さな実践が大きな病気の予防にお役に立てれば、と思つております。

しかし、時には緊急に医療を必要とする利用者もいらっしゃいます。その際は緊急診療にも対応しております。利用病状が回復すれば、宝生会の施設に再入所して療養を継続していただけます

が、後遺症によつては、沼尾病院の療養病床において療養もできます。利用者やご家族が、施設や病院を転々とすることのないよう、一貫した医療、療養サービスを受けることができるよう努めております。

**認知症対応型共同生活介護
グループホームカトレア**

入所・サービス利用について

①入所要件等

宇都宮市内に居住する、要支援2以上の中介認定を受け、認知症の症状が有り、概ね身辺が自立されている方が対象となります。

②費用について

介護保険の一割負担の他に、家賃食料費・光熱水費等が自己負担となります。

月額 概ね十二万円前後

暮らしのひとこま

介護副主任 黒崎 愛奈

お散歩時のスナップです。カトレアの傍を流れる釜川の遊歩道がお気に入りのコースで、毎日出かけるよう支援しています。



1設立年月日	平成十六年四月一日
2入所定員	十八名
3延べ床面積	821.49m ²
4構造	鉄筋コンクリート造2階建
5居室数	9部屋×2ユニット全室個室

施設の概要について

設立からの歩みについて

1設立年月日

平成十六年四月一日

2入所定員 十八名

3延べ床面積 821.49m²

4構造 鉄筋コンクリート造2階建

5居室数 9部屋×2ユニット全室個室

宇都宮市内を中心部に位置し、商店や公共機関など社会資源に恵まれ、協力医療機関の沼尾病院とは徒歩十分という立地にあります。

沼尾嘉時前理事長が、グループホーム嘉時前理事長が、グループ



カトレアでの介護・暮らし

カトレアでは、より日常性の継続を重視した介護や支援に努めています。少人数のグループによるゆったりとしたコミュニケーションが密に得られるのが認知症高齢者グループホームの特徴ですが、昼夜屋内で過ごすことでの閉塞感の解消や、四季の移り変わりを肌で感じられるよう、日々散歩や屋外への外出の機会が得られるよう工夫することに努めています。

又、利用者の方個々の能力に応じて日常生活行為の自立支援など、認知症の進行や心身機能の維持につながるよう工夫することに努めています。



はくらく



社会福祉法人
老人保健施設 白楽園
宝生会

介護老人保健施設 ◇事業内容◇

定員
一〇〇名
(ショートステイ含)

十二月下旬にはクリスマス会、も
ちつき会が行なわれます。昨年は新
型インフルエンザが世界的に流行
し、開催できるかどうか危ぶまれま
したが、幸い園内での集団感染は回
避され、予定通りに無事行なわれま
した。インフルエンザ及びノロウイ
ルス対策に関しましては、本年度も
十分留意するつもりです。

年を取るに従い、一年が過ぎるの
が年々早く感じます。この説明とし
て、十歳の子供の一年は、それまで
生きてきた時間の十分の一であり、
五十歳の中年の一年は、五十分の一
である。だから早く感じるのだ。と
いう意味合いの文章を目にしたこと
があります。真偽の別はともかく、
何となく納得しそうです。

四月上旬 桜が満開となります。
希望に胸を膨らませ、新入職員が入
職してきます。時の経過と共に、理
想と現実のギャップに悩む人も多い
でしょうが、初心を忘れずに日々の
仕事に励んでください。

七月上旬に、七夕祭りが開催され
ます。玄関に、短冊で飾られた青竹
が設置されます。一週間程は、青々
としているのですが、七夕祭り当日
には色褪せ、古竹となつた姿が印象
的でした。盛夏八月には、納涼祭が
行なわれます。

初秋九月中旬には、敬老会が開催

★専門職による、充実したりハビリ
提供と在宅復帰支援

専門職（理学療法士四名、作業療
法士一名、言語聴覚士三名）が充実
しており、急性期、回復期等の医療
機関より積極的に受け入れ、中間施設
としての役割を担い、充実したりハ
ビリを提供して在宅復帰を支援しま
す。

★積極的に認知症高齢者を受け入れ
ています。

認知症高齢者を専門的に介護する
認知症専門棟（50床）があります。
利用者の方々にも、季節感を少しで
も感じて頂きたい所存で、職員一同
年間の行事に取り組んでおります。
ご家族の皆様のご協力、ご参加よろ
しくお願い致します。

昨年に引き続き、施設長の重責を
拝命致しました。一年間の経験を基
に、利用者が安心して療養生活を送
れる様、また職員が働く喜びを感じ
られる様、努力するつもりです。

五十代半ばの私には、たぶんあつと
いう間の一年となるかと思います。
今年度もよろしくお願い致します。

通所リハビリテーション

定員 三〇名

退院後の継続したりハビリテー
ションや、現在の身体状態維持の為
にリハビリテーションが必要なご利用
者を対象に、理学療法士・作業療
法士・言語聴覚士等が中心となり、
専門的なりハビリテーションを提供
します。

また、パワーリハビリ（マシーン）
での筋力強化訓練も特徴のひとつで
す。利用年齢層も四〇代から九〇代
にわたり広範囲で、活気あふれる施
設です。

◇利用できる方◇

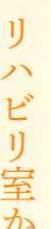
入所リハビリテーションや看護・介
護を必要とする要介護者（要介護認
定一～五を受けている方）。

通所リハビリテーションは、医師が
心身の維持回復と日常生活の自立を
図るためにリハビリテーションを必
要とすると認めた要支援一以上の認
定を受けている方。

※施設見学および入所・利用相談
隨時受付けています！

ベッドからの転倒、転落防止のた
め、低床ベッドの活用、センサー
マットの導入、クッション性の高い
床マットなどを設置し、骨折等のケ
ガ防止に配慮しています。

平成二十二年度 行事風景



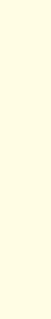
理学療法士
瀬戸 章弘

◇白楽園の特徴◇

パワーリハビリ機器五台設
置しております。

老化や身体に障害を持つ方々に専
門機器を使用して理学療法士が個別
に指導し、介護負担軽減・自立支援
を目標にトレーニングを行なっています。

パワーリハビリ設備



リハビリ室から…

◇白楽園の四季◇

白楽園の四季

施設長
並木 賢司



居宅介護支援事業

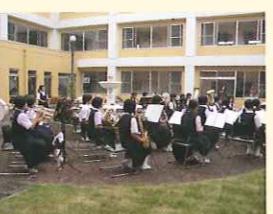
介護保険サービスを利用して、在
宅生活を継続していくたいとご希望
の方の相談に応じ、自立した生活を
営むことができるよう、ケアプラン
(居宅サービス計画)を作成します。
また、居宅サービスの提供が確保
されるように居宅サービス事業者や
関連機関との連絡調整その他の便宜
をはかり、一日でも長く在宅生活が
継続できるよう支援します。



12/9 クリスマス会
職員で結成した
『ホワイトパラダイス合唱団』
コーラス合唱



10/4 運動会



9/19 敬老会
国本中学校吹奏楽部
による演奏



8/8 納涼祭 盆踊り



12/26 もちつき会



2/28 ひなまつり会

平成二十二年度 年間行事予定

四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
お花見外出	菖蒲湯	七夕会	七夕会	納涼祭	敬老会	運動会	運動会	柚子湯
二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
節分	ひな祭り	豆まき	ひな祭り	ひな祭り	ひな祭り	ひな祭り	ひな祭り	クリスマス会
誕生日会	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	クリスマス会
二・三階(第二水曜)	書道・手芸クラブ	二月						
隔週	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月
二階(木)	二階(木)	二階(木)	二階(木)	二階(木)	二階(木)	二階(木)	二階(木)	二階(木)

毎月行事

二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
ひな祭り	ひな祭り	豆まき	ひな祭り	ひな祭り	七夕会	七夕会	ひな祭り	ひな祭り	ひな祭り	クリスマス会

特別養護老人ホーム敬祥苑



施設長
赤羽 基行



特養ご入所
麦島よし様



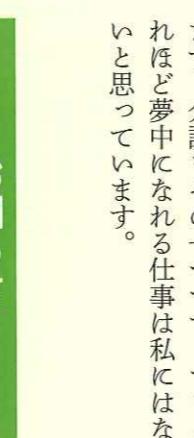
デイサービスご利用
田巻せん様



春
家族会会長
日野屋俊郎様



介護主任
中村裕美子



ます。介護もその一つです。でもこれまでほど夢中になれる仕事は私にはないと思っています。

お知らせ

三月十四日をもつて満百五歳になつた麦島よし様。敬祥苑で一番のご長寿です。ご本人はここでの生活について「ここはとっても良いよ。この年になると楽しいことも少ないけれど、毎日平穏に暮らすことが一番だ。ここには悪い人はいないし過ごしやすいよ。ここでずっと生活していきたいね。」と話されます。世界一の長寿になることを職員一同願っています。

(職員代筆)

骨粗鬆症の進行で胸椎を压迫骨折し入院、一時寝たきりに。床に座りそこから立つ。これも私には負担がかかり骨折を早める危険がある動きです。出来ることを制限されたり習慣を変えることは難しいですが、デイサービスや自宅でリハビリをして安全に清潔に気を配って過ごすことできます。一日を大事にして維持してゆきたいと思います。

桜のつぼみが今か今かとその開花を待ち望んでいます。木々全体をうす赤色に染め人々を楽しませてくれるのもうすぐです。

厳しい冬の寒さを堪え忍んできた我々にすれば、季節が変わることの時期に鮮やかなうす赤色の桜は一段と人の心を和ませてくれますし、これからも頑張るぞ、との思いがこみ上げてくることもあります。

以前仕事の関係で農業用水の管理に携わった時期がありました。

この時期になると代播き、田植えで水を河川から水路に取り入れるわけですが、このときは農業関係者が水門付近に集まり秋の豊作を祈念した神事が行われました。

鬼怒川の冷たい雪解け水が水門から先を競うように水路に流れ込み下流域の水田を潤しますが、ここも桜の花が満開で、ああここにも春が来たんだなあと何時も思っていました。

約十五年前、新聞に、ある記事が連載されました。「介護の現場から」：それが私と介護との出会いであり始まりでした。施設で生活するお年寄りと介護職員の日常、何気ない会話。「こんなに面白い仕事があるなんて!!」と、すぐに就職活動を開始しました。しかし、介護に関する何の知識も資格もない私を雇ってくれる施設はどこにもありませんでした。ところが、敬祥苑だけは違いました。知識、技術を一から教えてくれたのです。先輩から学び経験していくうちに未熟さに堪えられない感じることもありました。これからもあるでしょう。でも、その辛さを乗り越えさせてくれた存在がありました。「優しい」といった言葉では表現しきれない程に愛おしいお年寄りの笑顔、ぬくもりのある手、そして私を支え続けてくれた仲間達です。彼らの存在があったからこそ今の自分がいるのだ、心から感謝しています。楽な仕事はないと思います。

敬祥苑では、毎年四月～十月の間、お天気の良い日中の時間を利用して入居者の皆さんのお外出活動を行っています。一班三人ほどの小人数ではありますですが、参加される方の状態に合わせて行き先を決めています。

昨年は、宇都宮動物園のお花見を始め、篠井のポピー畑、鬼怒川の足湯、千手山公園、大平山の紫陽花見学などに出かけてきました。

今年度も早速お花見からスタートしています。今後も入居者の皆さまの日常生活の活性化、余暇活動の充実を図っていきたいと思つておりますので、おすすめの場所や穴場を御存知でしたらぜひ敬祥苑スタッフにお声を掛けて下さい！

また、敬祥苑ではこうした外出行事の他に、七夕運動会、納涼祭、敬老会、地域交流会などを行っています。ご家族様はもちろん、地域の皆様、各関係機関の皆様におかれましてもお気軽に敬祥苑での行事にいらしてみてください。

(副施設長 沼尾あゆ美)

昭和六十二年四月下旬に、最初に入所した方を迎えた日のことを、つい先頃のことのように思い出します。当時は職員の大半が二十歳代と若く、異業種からの転職組の私もその中の一人でした。また、老人福祉や介護の職業経験がある者も僅かであつたことから全てが手探りの状態であり、職員同士が論じ合いながらは勿論のこと、先輩施設の皆様にも事細かなことまでご教授いただきながら、課業を組み立てていく毎日でした。

そして、利用者の皆様にとつても、認知症状の進行に伴い常に落ち着かれないので、意思疎通が困難なほどに意識低下がある方、また重い後遺症や障害により寝たきりで病院やご自宅で長い時を過ごしてきた方等ご事情に違いはあっても、慣れ親しんだ

新たに介護施設や居宅サービスを利用される方にとつても、永年に亘つてご利用をいただいている方々にとって、「掛け替えのない大切な時」を私たちに託していただいているわけであり、事業所としても個々の職業人としても、そのことに応えるために切磋琢磨を怠らないこと、常に顧みる姿勢や当事者意識を持つことが、私達に対する信頼を寄せていただくことに繋がるものと考え、不断の努力をしてまいります。



家庭等から全く異質な環境に居を移す方々にとつては、私たちでは計り知れないほどの不安や葛藤を抱えながらのことであつたと思います。

この春で、特別養護老人ホーム敬祥苑が開設して二十四年目を迎えましたが、その間に介護保険制度がスタートし、介護計画や介護サービスの公開性、居宅介護サービスの拡充やユニットケアの推進等、高齢者福祉・介護を取り囲む制度環境は著しく変化しました。

新たに介護施設や居宅サービスを利用される方にとつても、永年に亘つてご利用をいただいている方々にとって、「掛け替えのない大切な時」を私たちに託していただいているわけであり、事業所としても個々の職業人としても、そのことに応えるために切磋琢磨を怠らないこと、常に顧みる姿勢や当事者意識を持つことが、私達に対する信頼を寄せていただくことに繋がるものと考え、不断の努力をしてまいります。

可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるようになります。

○指定介護老人福祉施設

入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理等行なうことでより、施設内においてもそれぞれの方が有する能力に応じ自立した生活を営むことができるようになります。

可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるようになります。

○指定訪問介護事業

可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるようになります。

○指定通所介護事業

可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるようになります。

可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるようになります。

○指定居宅介護支援事業

要介護状態等となつた場合においても、可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるようになります。

可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるようになります。

可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、心身の状況、生活を営むことができるようになります。

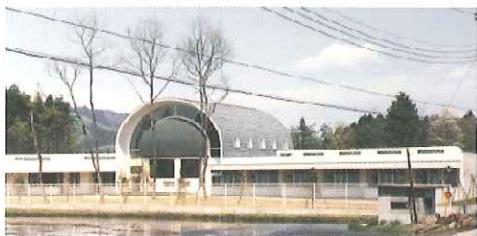
敬祥苑事業概要

平成十二年度から介護保険法が施行されて既に十年の歳月が流れました。敬祥苑においては、それ以前からの事業について指定を受け、地域の皆様の福祉に貢献できるよう、邁進いたします。今回、要介護認定の皆様にご利用いただく事業を中心にお説明いたします。

、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族的身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族的身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

特別養護老人ホーム敬祥苑



昭和62年4月22日開設

所在地

宇都宮市宝木本町2141

TEL 028-665-5633

FAX 028-665-5635

介護予防	介護給付
介護予防 通所介護	介護老人福祉施設 短期入所生活介護
介護予防訪問介護	介護予防短期入所生活介護
介護予防通所介護	居宅介護支援事業
居宅介護予防支援事業	

実施事業について



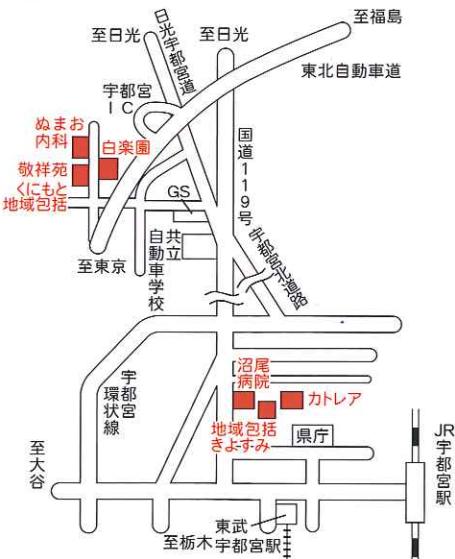
平成4年4月24日開設

宇都宮市宝木本町2140-2

TEL 028-665-7171

FAX 028-665-7177

老人保健施設白楽園



認知症対応型共同生活介護
介護予防認知症対応型共同生活介護



平成16年4月1日開設

宇都宮市星が丘1-1-28

TEL 028-650-7345

FAX 028-621-0222

グループホームカトレア

編
集後記

今年度より宝生会グループとして宝生会広報『オムソーリ』の創刊号を発行する運びとなりました。各施設の概要はじめ、特色等についてそれぞれの施設で分担して掲載いたしました。今後とも宝生会をご理解いただき地域の中でお役に立てれば幸いです。発行に伴いましては快くご寄稿をいただきました方々のご協力に深く感謝申上げます。

老人保健施設白楽園
園長 沼尾 嘉人



ぬまお内科

所在地

宇都宮市宝木本町2141-5

TEL 028-665-6511



沼尾病院

所在地

宇都宮市星が丘1-7-38

TEL 028-622-2222

関連医療機関

社会福祉法人宝生会施設及び事業について